

機能強化加算 I (単独・共同) + 共同体運営整理資料

(令和 3~6 年度制度対応版)

この資料の位置づけ

本資料は、機能強化加算 I (単独型・共同型) 及び共同体運営について、制度改正を踏まえた確認の視点を整理したものです。

ホームページ掲載用資料
作成日：令和 8 年 4 月 29 日

1 資料の目的

- ・支援困難ケースへの対応力の強化
- ・地域における中核的役割の発揮
- ・相談支援の質の底上げ

見直しの基本視点

- ・実際に機能しているか
- ・記録で確認できるか
- ・地域で役割を果たしているか

2 単独型と共同型の構造

区分	特徴	確認の視点
単独型	即応性・一体性	属人化していないか
共同型	補完性・広域性	連携が形骸化していないか

3 共同体運営の実態

- ・運営委員会 (月 1 回)
- ・ケース共有 (月 2 回以上)
- ・人材育成 (同行・研修)
- ・困難事例対応
- ・基幹・協議会連携
- ・24 時間対応体制

4 基幹相談支援センターとの関係

- ・共同体＝実働部隊
- ・基幹＝後方支援
- ・連携が重要

5 機能強化加算 I ~IV

区分	内容
I	中核機能 (最も高度・包括的)
II	地域関与 (地域支援・連携の強化)
III	専門性強化 (研修・スキル・体制)
IV	基本体制 (最低限の体制整備)

6 運営規程への反映

- ・ 共同体の位置づけ
- ・ 役割分担
- ・ 会議体
- ・ 人材育成
- ・ 困難事例対応

7 監査チェックリスト

確認	チェック項目
<input type="checkbox"/>	共同体が機能している
<input type="checkbox"/>	会議が実施されている
<input type="checkbox"/>	記録がある
<input type="checkbox"/>	連携がある
<input type="checkbox"/>	体制と実態が一致

8 まとめ (しろっこの視点)

- ・ 体制ではなく関係・連携をつくる仕組み
- ・ 制度と実践のあわいを支え、支援力を高める